

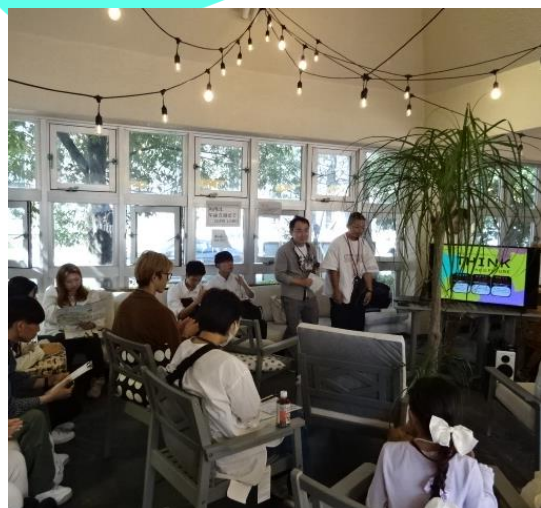
THINK the まちなか FUTURE NEWS

DAY1 まちなか公共空間のビジョンを知ろう！

2024年10月20日(日)13:30~16:30 @中央公園8ブロック 参加者:13名

呉市まちなか公共空間デザインワークショップ DAY1 を開催！

呉市では、蔵本通りや堺川沿いの中央公園一帯のまちなか公共空間を多様な人が出会い、交流することができる「人中心のウォーカブルな空間」として再構築を図るため、令和6年9月に「呉まちなか公共空間デザイン計画」を策定しました。この計画で掲げる取組をまちなか公共空間にどう落とし込んでいくか、必要な機能やその配置など未来の空間の姿について、市民をはじめとしたみなさんと一緒に考えていくために、デザインワークショップを開催することとしました。DAY1では、計画で掲げるビジョンを参加者のみなさんと共有した後に、空間内の散策を行ない、チームごとにまちなか公共空間の未来の姿について意見交換を行いました。



■当日のプログラム

13:30 ~14:00	開会 ワークショップの目的や呉まちなか公共空間デザイン計画の概要説明
14:00 ~15:00	【フィールドワーク】 まちなか公共空間の散策
15:00 ~16:00	【グループワーク】 まちなか公共空間の未来の姿を考えよう
16:00 ~16:15	各グループからの発表 ワークショップコーディネーターからの講評
16:15 ~16:20	今後の予定、閉会

当日の様子をレポート

まちなか公共空間デザインワークショップ DAY1 には、高校生や大学生、公園を利用する親子を始めとして、13名の方にお集まりいただきました。参加者全員で、まちなか公共空間やれんがどおりを散策し、空間の良いところ、改善すべきところを確認しました。

グループワークでは三つの班に分かれ、まちなか公共空間の未来の姿について意見交換を行いました。時折笑い声が聞こえるなど、とても楽しい雰囲気の中で意見交換が行われ、今のまちなか公共空間の良いところとして、樹木やガス灯、大型遊具など今ある施設を評価する一方で、改善すべきところとして、スタッフが常駐できる拠点の必要性や川沿いの駐車場空間の利活用などの意見が挙げられました。

まちなか公共空間の未来の姿のアイデア出しでは「橋上からの眺望を活かした空間整備」や「川沿いや図書館周辺へのカフェの整備」、「夜を演出するコンテンツの導入」など、たくさんの意見が挙げられました。



DAY1のとりまとめ(主な意見)

TEAM YELLOW

- 道の駅のような拠点（駐車場やレンタサイクル、パークマネージャー・飲食等を提供可能）が必要
- 日影が欲しい
- 車が走行しない空間は、歩行者が自由に通行できる
- 楓橋からの眺望を活かし、飲食や景観を楽しめるように（橋上のダイニング・コワーキング）



TEAM GREEN

- 自由に動かせたり、寝転がれるような椅子やテーブル
- 年齢や遊びの種類に応じたゾーニング
- 緑のカーテン、芝生などの緑化
- 図書館とつながるカフェと屋外空間での読書
- 夜を演出するコンテンツの導入
- 親の滞在場所や恋人が滞在できる空間



TEAM RED

- 川沿いにカフェを整備
- 図書館と公園をつなぐベデストリアンデッキの整備や図書館のリニューアル（カフェなど）
- 川沿いの駐車場を飲食店スペースとして活用。
- 市役所駐車場などを使用することで、商店街からの人の流れを創出

